

緑の風 FAX版



NO. 75 2019年 2月9日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

19春闘方針を決定!

JR東労組第45回定期中央委員会終了する

2月8日、TKP東京駅日本橋カンファレンスセンターにて、第45回定期中央委員会を開催しました。「JR東労組の存亡をかけ、向こう2年を展望し、未来を切り拓くために、12地本が総団結し、全組合員と共に組織の信頼回復と強化・拡大を実現しよう!」のスローガンを採択し、終了しました。

具体的な19春闘の方針は・・・

- ① JR総連春闘として、一律ベア6,000円（定昇含まない）引き上げ要求
- ② グリーンスタッフ・エルダー組合員の基本賃金 6,000円引き上げ要求
- ③ 定期昇給（係数4）の実施を要求
- ④ 平成採用者の待遇改善を要求
- ⑤ 「働き方改革関連法」に関する学習・討論を行い、
36協定などの闘いに繋げる

議論の中では、18春闘大敗北の総括視点について、18春闘当時の『中央闘争委員会情報』『本部見解』において会社回答の一部を切り取り、「格差ベアを根絶した」など誤った打ち出しを行い、組織の混迷を深め、多くの組合員から信頼を失った結果、大量脱退を生み出した本部の責任など反省点をあらためて明確にしました。

また、委員の発言の多くは、新生JR東労組運動を職場から担い組織拡大へ繋げた実践など、大きな成果の報告がありました。

18春闘の総括に基づき、組織への信頼回復と強化・拡大を全組合員と共に進めていくことを全体で確認しました。

19春闘での賃金引き上げに向けて、

職場からたたかいをつくり出そう!!